

学習日 月 日 年 組 番 氏名

- 1 次の図のような底面の半径が6 cm、母線の長さが10 cmの円錐の体積と側面積を空らんをうめて求めなさい。(p. 162)

三平方の定理より

$$h^2 + \square^2 = \square^2$$

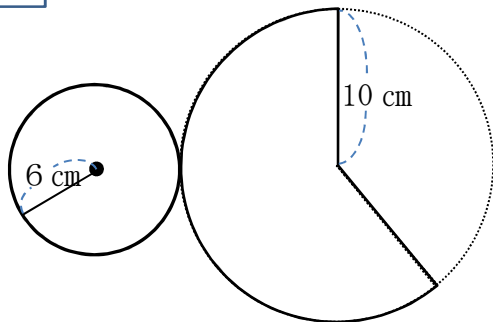
$$h^2 = \square - \square$$

$$= \square$$

$$h > 0 \text{ であから } h = \square = \square$$

したがって、体積は

$$\square \times \pi \times \square^2 \times \square = \square$$



底面の円周は \square cm , したがって、

側面になるおうぎ形の弧の長さも

$$\square \text{ cm になる。}$$

側面になるおうぎ形の半径は 10 cm なので、

半径 10 cm の円の円周は \square cm

したがって

$$\frac{\text{(側面になるおうぎ形の弧の長さ)}}{\text{(半径 10 cm の円の円周)}} = \frac{\square}{\square} = \frac{\square}{\square}$$

よって おうぎ形の側面積は

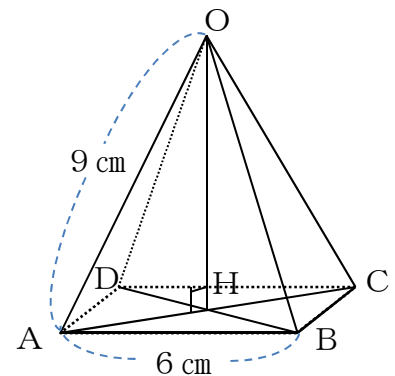
$$\pi \times \square^2 \times \square = \square$$

体積 側面積

- 2 母線の長さが6 cm、高さが $4\sqrt{2}$ cmの円錐の体積を求めなさい。(p. 162)

答 _____

- 3 底面の1辺が6 cmの正方形で、他の辺が9 cmの正四角錐があります。底面の正方形の対角線の交点をHとして、この立体の体積を求めなさい。(p. 162)



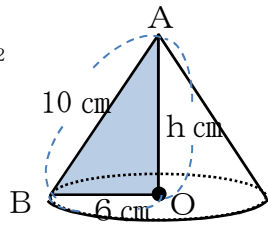
答 _____

1 三平方の定理より

$$h^2 + 6^2 = 10^2$$

$$h^2 = 100 - 36$$

$$= 64$$



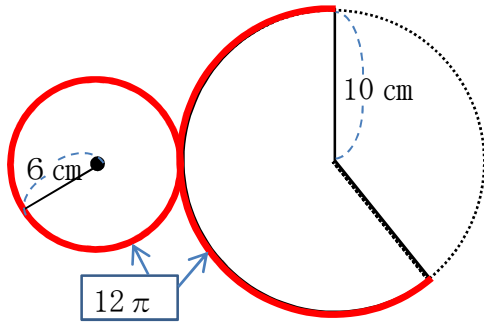
$h > 0$ であから $h = \sqrt{64} = 8$

直角三角形AOBの辺の比

3 : 4 : 5を利用して $h = 8$ を求めてもよい。

したがって、体積は

$$\frac{1}{3} \times \pi \times 6^2 \times 8 = 96\pi$$



底面の円周は 12π cm したがって

側面になるおうぎ形の弧の長さも

12π cmになる。

側面になるおうぎ形の半径は 10 cmなので、

半径 10 cmの円の円周は 20π cm

したがって

$$\frac{\text{(側面になるおうぎ形の弧の長さ)}}{\text{(半径 10 cmの円の円周)}} = \frac{12\pi}{20\pi} = \frac{3}{5}$$

よって おうぎ形の側面積は

$$\pi \times 10^2 \times \frac{3}{5} = 60\pi$$

体積 96π cm³ 側面積 60π cm²

2

底面の半径を r cmとすると

三平方の定理より

$$r^2 + (4\sqrt{2})^2 = 6^2$$

$$r^2 = 36 - 32 = 4$$

$r > 0$ であるから

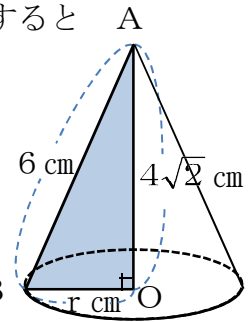
$$r = 2$$

よって 体積は

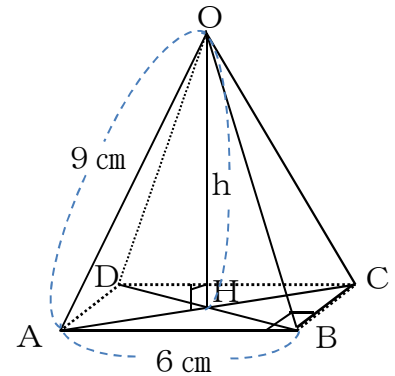
$$\frac{1}{3} \times \pi \times 2^2 \times 4\sqrt{2}$$

$$= \frac{16\sqrt{2}}{3} \pi$$

答 $\frac{16\sqrt{2}}{3} \pi$ cm³



3



△ABCは直角二等辺三角形であるから

辺の比は 1 : 1 : $\sqrt{2}$ となる

よって $AC = 6\sqrt{2}$, $AH = 3\sqrt{2}$

正四角柱の高さを h とすると

△OAHは直角三角形だから

三平方の定理より

$$h^2 + (3\sqrt{2})^2 = 9^2$$

$$h^2 = 81 - 18 = 63$$

$h > 0$ より

$$h = \sqrt{63} = 3\sqrt{7}$$

よって正四角錐の体積は

$$\frac{1}{3} \times 6 \times 6 \times 3\sqrt{7} = 36\sqrt{7}$$

答 $36\sqrt{7}$ cm³